

東京オリンピック大会報告

Tokyo Olympic Games Report

上野 広治¹⁾

Koji Ueno¹⁾

Key words: Olympic, host country, COVID-19

オリンピック, 自国開催, 新型コロナウイルス

1. はじめに

近代オリンピックは1896年に第1回大会がアテネで開催された。以後、4年ごとに大会が開催されていた。

オリンピックは国ではなく都市が招致を行う。東京が初めて立候補し、開催地に決定したのは、1936年の国際オリンピック委員会（以下、IOCと表記）総会である。第12回大会の開催地として準備を進めていたが、1937年に日中戦争が全面戦争化し、開催の可能性が危ぶまれ、1938年に正式に開催都市の返上をすることとなった。初めて東京がオリンピック開催都市となったのは、1964年の第18回大会であった。第18回大会では、金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個の計29個を獲得し、金メダル数ではアメリカ、ソビエト連邦に続き3位となった。東京として3回目のオリンピック招致は2011年からスタートし、2013年9月7日にアルゼンチン・ブエノスアイレスで行われたIOC総会にて第32回大会の開催地として決定した。2020年の開催に向け、組織委員会を設立し準備をしていたが、2020年2月に新型コロナウイルスが蔓延すると、日本のみならず世界中の日常生活が大きく変わった。海外ではロックダウンがなされ、日本でも緊急事態宣言が発令され、行動が制限された。このことによりスポーツ活動も制限され、外出することさえも制限される中、3月24日にオリンピック史上初となる延期が決定した。こうして1年程度の延期ということが決定すると、3月30日には、2021年の夏に延期されることも決定した。新型コロナウイルスの影響は2021

年も続き、東京オリンピックは新型コロナウイルスが蔓延している中での開催となり、様々な制限のある大会となった。本報告は、東京オリンピックの大会がどのように行われ、スポーツに携わる者が何を達成することができたのかをまとめることを目的としたものである。

2. 概要

2.1. 大会テーマ

東京オリンピックのテーマは、①復興オリンピック、②現代の日本・東京の発信、③ダイバーシティ&インクルージョンの推進等があげられた（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、2020）。

まず初めに復興オリンピックとして、東日本大震災の被災地である福島から聖火リレーをスタートし、競技も福島あづま球場からスタートした。オリンピック延期決定後は、コロナ禍での世界的スポーツイベントの実施という位置づけになり、新たなウイルスと戦いつつ、社会生活を行っていき強い意志を示すことになった。次に、現代の日本・東京の発信として、再生プラスチックで作成した表彰台や、全国の木材を活用した選手村の施設、被災地復興住宅の廃材を用いた聖火トーチ、水素エネルギーを活用した乗用車等が大会中に使用された。さらに文化の発信として、入賞選手の表彰状は和紙が用いられ、また選手団へは陶磁器製の記念品が渡された。そして、オリンピックの開会式の演出にはアイヌや沖縄の文化の紹介も組み込まれた。最後に、ダイバーシティ&インクルージョンとし

1) 日本大学スポーツ科学部
College of sports sciences, Nihon University

て、競技における男女平等が推進され、開会式でも旗手を男女で行うなど、オリンピックの歴史上新たな取り組みが積極的に行われた。

2.2. 期間

開会式は2021年7月23日（金）に、閉会式は8月8日（日）に行われ、大会は全17日間で開催された。ただし、競技は7月21日（水）から行われた為、競技実施日数は19日間となった。

2.3. 参加者

参加団体は205の国と地域および難民選手団の計206団体であった。また、参加アスリートは男子5,985名（全体の52.1%）、女子5,498名（全体の47.9%）で、計11,483名であった。日本代表選手団は、選手が男子306名（日本代表選手団の52.5%）、女子277名（日本代表選手団の47.5%）の計583名となり、スタッフは475名で、計1,058名となった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021c）。選手の男女比は、日本においても世界においても、凡そ同数の割合を示しており、本大会のコンセプトであった男女平等が実現できたものと考えられる。

日本代表選手数は前々回のロンドンオリンピックで293名（男子137名、女子156名）、前回のリオデジャネイロオリンピックで338名（男子174名、女子164名）であった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2013。公益財団法人日本オリンピック委員会, 2017）ことから、今回の東京オリンピックの出場選手が2倍近くに及んでいることが分かる。

2.4. 実施種目

オリンピック競技は、33競技339種目が行われた。前回のリオデジャネイロオリンピックでは28競技306種目であったことから、5競技33種目が増えた形となった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021c）。

新競技・種目は、都市型・男女平等・若者志向の視点で決定された。新競技として、スケートボード、スポーツクライミング、野球・ソフトボール、空手、サーフィンが採択され、新種目として、BMXフリースタイル、バスケットボール3×3や各競技における男女混合種目などが追加された。日本選手団は33競技全競技に

出場したが、出場種目は258種目にとどまり、全種目には出場することができなかった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021a）。

3. 競技結果

今大会では20個の世界新記録が樹立された（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021a）。

日本選手団の結果は、金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個の計58個のメダルを獲得し、1位のアメリカ113個（金メダル39個、銀メダル41個、銅メダル33個）、2位の中華人民共和国88個（金メダル38個、銀メダル32個、銅メダル18個）に続き3位のメダル獲得となった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021a）。1964年の東京オリンピックと同様に世界第3位のメダル獲得数となった。特に金メダルの数が増えており、多くの選手が国際競技力を向上させ、自国開催もあり、好成績を残せたものと思われる。

金メダルを10競技68名の選手が、銀メダルを13競技41名の選手が、銅メダルを13競技22名の選手が獲得し、計131名の日本代表選手が東京オリンピックでメダルを獲得した（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021b）。これは参加選手全体583名の22.5%を示し、非常に高い数字となった。また、入賞は44競技180名となり、メダルを獲得した131名を併せると入賞者数は311名となり、日本代表選手の半数以上が入賞以上の結果を残したこととなった（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021b）。

1984年以降の日本のメダル獲得数を表1に示した。

表1 夏季オリンピックにおける日本のメダル獲得数

	金	銀	銅	計
1984 ロサンゼルス	10	8	14	32
1988 ソウル	4	3	7	14
1992 バルセロナ	3	8	11	22
1996 アトランタ	3	6	5	14
2000 シドニー	5	8	5	18
2004 アテネ	16	9	12	37
2008 北京	9	6	10	25
2012 ロンドン	7	14	17	38
2016 リオデジャネイロ	12	8	21	41
2021 東京	27	14	17	58

（公益財団法人日本オリンピック委員会, 2021d, 作成者：上野広治）

前々回のロンドンオリンピックでは38個（金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個）、前回のリオデジャネイロオリンピックでは41個（金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル21個）と過去最高の結果を残すことができた（公益財団法人日本オリンピック委員会、2021d）。

今大会で最もメダルを獲得した競技は柔道であり、金メダル9個、銀メダル2個、銅メダル1個の計12個のメダルを獲得した（公益財団法人日本オリンピック委員会、2021b）。金メダル9個は、柔道界にとってもオリンピックにおける最多のメダル獲得数となり、日本代表選手全員がメダルを獲得するという快挙を示した。柔道は日本のお家芸と言われており、その種目で大量のメダルを自国開催のオリンピックで成し遂げたことは、選手・スタッフ全員が東京オリンピックにむけて努力しただけでなく、日本代表チームとして一丸となり戦ったことが伺える。

また、サーフィンやスケートボードなどの新種目においても、メダル獲得の活躍がみられた。日本が獲得した金メダル27個のうち、新種目であったスケートボード・スポーツクライミング・空手など5競技で金メダルを6個獲得している（公益財団法人日本オリンピック委員会、2021b）。特に、スケートボードでは、金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得し、日本は世界で第1位となる5個のメダルを獲得した。男子ストリートで堀米雄斗選手が金メダルを獲得すると、女子ストリートでは西矢椛選手が日本史上最年少となる13歳で金メダルを獲得し、16歳の中山楓奈選手も銅メダルを獲得した。また、女子パークでは、19歳の四十住さくら選手が金メダルを、12歳の開心那選手が銀メダルを獲得し、夏季冬季オリンピックを通じての日本最年少メダリストとなった。4位には金メダルが有力視されていた15歳の岡本碧優選手が入り、金メダルは獲れなかったものの、プレイスタイルに各国の選手から賞賛を浴び、国と国の争いではなく選手同士が称えあうというスポーツのすばらしさを10代の選手が表してくれた大会となった。

一方で、リオデジャネイロオリンピックの際にメダルを獲得できなかったが、東京オリンピックにおいて獲得することができた国が、競泳で8か国、柔道で5か国、体操で9か国、陸上競技で15か国、レスリン

グフリースタイルで7か国、グレコローマンで5か国あった。コロナ禍でスポーツが制限されていた点については世界共通であることから、このような国がどのような強化を行い、国際競技力をあげることができたのかを分析し、今後の強化に生かしていく必要があると考える。

4. 運営

4.1. 開閉会式

開会式は7月23日に、閉会式は8月8日に、いずれも新国立競技場で行われた。オリンピック開会式のコンセプトは“United by motion（感動でつなぐ力）”，閉会式のコンセプトは“Worlds we share（多様な世界の共有）”であった（オリンピックチャンネル、2021a。オリンピックチャンネル、2021b）。先述した通り、今大会から旗手は男女2名となり、日本は男子がバスケットボールの八村塁選手、女子はレスリングの須崎優衣選手が務めた。

これまでは日本代表選手団の結団式を事前に行った上でオリンピックの開幕を迎えた。今回はコロナ禍により一堂に選手団が会することはできず、オンラインで結団式を実施した。このオンライン結団式では主将の陸上競技の山縣亮太選手と副主将の石川佳純選手が中心となり、日本代表選手団として一致団結を誓った。

4.2. 競技会場

43か所の競技会場が用意され、東京近郊には27か所の競技会場を集約させた。この27か所の会場は、1964年の東京オリンピックで使用された会場があるヘリテッジゾーンと、ゾーンの多くが埋め立て地である東京ベイゾーンに分かれ、それぞれ10か所と17か所の競技会場が配置された。ヘリテッジゾーンと東京ベイゾーンの交差点である東京都中央区晴海5丁目には選手村が配置された。東京近郊以外では、全競技のスタートとして、ソフトボールが福島あづま球場で行われ、同日女子サッカーの日本戦も札幌ドームで行われた。

競技会場については、真夏のオリンピック開催により場所変更を余儀なくされた競技もあった。マラソンは当初、東京の新国立競技場をスタート・ゴール地点と予定しており、2019年9月にはマラソンのオリ

ピック代表選考会を兼ねた大会まで行われたが、猛暑が想定されたことにより北海道札幌市での開催に変更となった。

4.3. 選手村

選手村はオリンピック選手・パラリンピック選手が生活をする場として、7月13日に開村し、9月8日に閉村した。選手村のセキュリティは空港と同じレベルで行われており、入村時にAccreditation (AD) カードを有効化する際には日本人でもパスポートが必須となった。各国が居住する棟には、国旗が掲げられると共に、リラックスできるスペースを設けていた。例えば、オーストラリアはカフェテリアを作り、パスタを準備したり(写真1)、イギリスはモニュメントとして、電話ボックスを持ち込むなどしており(写真2)、各国が選手村ではリラックスできるように工夫していた。

日本チームは、居住棟の出入り口の近い場所に椅子とテーブルを配置し、さらにエントランスを入ったところには、選手がサインできるように国旗も飾られていた。また、毎日日本選手団の結果をホワイトボードに記載し(写真3)、メダル獲得状況も示したボードを配置することで、チームジャパンとして士気を高めさせ、他競技の選手の活躍から刺激が受けられるようにした(写真4)。

居住スペースには、キッチンはなく、3LD~4LDの間取りとなっており、各部屋1~2名で宿泊した。

ベッドは段ボールで作成され、オリンピックのテーマでもある持続可能性を示した。選手村内には、理容室、ネイルサロン、銀行、病院、クリーニング屋など一通りの生活ができる環境が整っていた。移動は徒歩20分程度で選手村の端から端まで歩くことができるが、自動運転自動車も走っており、バスのように各停留所で乗り降りができるようになっていた。

食堂は2階建てとなっており、選手村にいる選手、スタッフ全員が食事をするができるようにするた



写真2 イギリス居住棟前のリラックススペース
(撮影月日：2021年8月3日、撮影者：上野広治)



写真1 オーストラリア居住棟
(撮影月日：2021年8月3日、撮影者：上野広治)



写真3 日本居住棟のリラックススペース
(撮影月日：2021年8月3日、撮影者：上野広治)



写真4 日本居住棟に設置されたメダル獲得ボード
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)



写真6 食堂の様子：グルテンフリー・ベジタリアン向けメニュー
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)



写真5 食堂の様子：アクリル板で区切られた席
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)

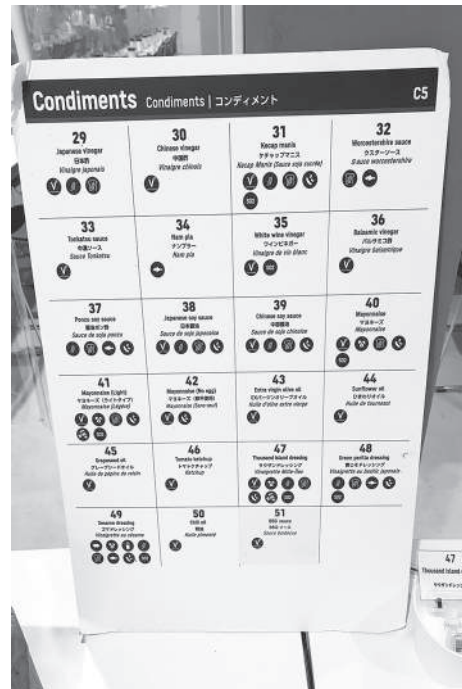


写真7 食堂の様子：各種ソースに原材料が記されていた
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)

め、非常に広いスペースとなっていた。選手は競技時間にあわせて食事を摂るため、24時間オープンしていた。食堂はビュッフェ形式となっており、コロナウイルス感染予防のため、大きな手洗い場が設置され、使い捨てのビニール手袋を装着し、食事を摂る形式であった。また、食事をするブースは前面と両サイドをクリア板で区切られており、食事するまではマスクの着用をするなど、感染予防の徹底がなされていた(写真5)。食事内容は各国の食べ物に加え、グルテンフリーやベジタリアン用の食事も提供されていた(写真6)。ま

た、宗教上の配慮もされており、すべてのメニューの原材料がイラスト付きで示されていた(写真7)。中でも日本食は人気であり、お寿司や餃子などが準備されていた。食べ物や飲み物等全てが日本の製品であったことから、日本選手団にとって他国で開催のオリンピックにおいては、どのような味がするのか試すところから始まるが、今回は日本選手団にとっては、いつ



写真8 トレーニングルームの様子
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)

も見慣れている製品ばかりで、ストレスなく食事がとれたものと思われる。

食堂以外には、大きなトレーニングルームも用意されていた(写真8)。多くの選手が競技会場に行かなくとも、ランニングやウエイトトレーニングができるようになっており、選手のみならずスタッフも健康管理のために利用していた。

4.4. コロナ対策

コロナ対策は選手団が入村する前から行われ、入村後は選手村、競技会場で徹底された。その対策ではPCR検査をしている人としていない人が混じらないように、バブル形式がとられた。

入村前に、海外の選手団は統合型入国者健康情報等管理システム(OCHA)という健康管理アプリをスマートフォンにインストールさせ、健康管理の徹底を図った。また空港の検疫ではPCR検査が行われ、陽性者が出た場合にはただちに隔離するなどの対応を取った。

入村期間も制限があり、競技の5日前に入村し、競技終了2日後に離村することが決められた。

入村後は毎日唾液によるPCR検査が行われた。入村時に、離村までの日数分のPCR検査キットが1人ずつ渡され、検査キットにはバーコードが貼られており、どの検査キットが誰のものか分かるようになっていた。また、PCR検査の責任者を各競技で選任し、

その責任者が毎日決まった時間までに選手村内にあるPCR検査場に検査キットを提出した。PCR検査は毎日行われ、万が一陽性者が出た場合にはその責任者に知らせがくるようなシステムとなっていた。各国の選手団は、選手村と競技会場、トレーニング場の行き来のみが許され、その行き来も、決められたバスや交通手段しか使用することができず、一般の方との接触は不可であった。

また、競技会場や選手村内ではマスク着用が義務付けられ、全員が守っていた。

競技会場ではコロナ対策のために多くの競技会場が無観客での実施となった。チケットは払い戻しとなり、関係者の来日も当初の予定の3分の1以下まで削減された。選手はこのことによりプラスに働いた人とそうでない人がいると考えられる。自国開催により、多くの日本人に応援される想定であったが、逆にその応援がなかったことで、過度の緊張をせずに本番に臨めたという選手もいた。

4.5. ボランティア

これまでのオリンピックもボランティアスタッフはいたが、今大会は特にコロナ禍にも関わらず、多くのボランティアスタッフが協力してくれたおかげで、大会をスムーズに開催することができたと感じた。24時間開いている食堂ではシフト制によりボランティアの方々が働いてくださり、深夜にも関わらず、日本代表選手団には頑張ってくださいとの声をかけていただいた。ボランティアスタッフの方々と言葉の障害もなくコミュニケーションがとれたという利点に加えて、オリンピック開幕前まではオリンピックの開催に様々な意見がある中で直接応援してくれたことにより、日本代表選手団の力になったと考えられる。

5. まとめ

本報告では、東京オリンピックの大会がどのように行われ、スポーツに携わる者は何をすることができたのかをまとめることを目的とした。

今大会は、オリンピック史上初の延期となり、コロナ禍でオリンピックの開催が危ぶまれ、世界中のアスリートが不安な日々を過ごす中、開催することができた。オリンピック・パラリンピック共に異例の運営

ではあったが、競技を実施することができ、各国の選手団からは賞賛の声があがった。それは各国の居住棟にも示され、多くの国が感謝の言葉を伝えていた(写真9, 10, 11)。



写真9 感謝の言葉：オーストラリア棟
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)



写真10 感謝の言葉：オランダ棟
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)



写真11 感謝の言葉：ニュージーランド棟
(撮影月日：2021年8月3日，撮影者：上野広治)

コロナ禍は東京オリンピックが閉幕した2021年10月現在も続いており、そのまま冬季オリンピックも開幕される予定である。東京オリンピックが1年延期したことにより、2024年のパリオリンピックまで3年を切っており、コロナ禍と言えども、強化を続けていかなければいけない状況である。先述した通り、東京オリンピックで前回大会より結果を出した国も多くあり、また結果を出せなかった国もある。コロナ禍では海外遠征が制限されるため、国内でどのような強化をしていくかが重要となると思うが、それぞれがどのような要因で今大会の結果が出たのかを分析する必要があると考える。特に、日本には国民体育大会等の国内の一大スポーツイベントがあるが、コロナ禍により2年連続で中止を余儀なくされている。この影響がどのように今後現れるのか、またそれらが国際競技力向上にどのようにつながるのかを明らかにし、海外渡航が制限されている現在において、国内で国際競技力向上をあげる新たな施策を打ち出していく必要があると考える。

参考文献

公益財団法人日本オリンピック委員会 (2013) 第30回オリンピック競技大会 (2012/ロンドン) 日本代表選手団報告書。公益財団法人日本オリンピック委員会、ホクエツ印刷株式会社：東京。P.167

- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2017）第31回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）日本代表選手団報告書. 公益財団法人日本オリンピック委員会, ホクエツ印刷株式会社：東京. P215-216, 613
- 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック組織委員会（2020）大会について. <https://www.tokyo2020.jp/ja/>（閲覧日2021年9月28日）
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2021a）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）競技日程・結果. <https://www.joc.or.jp/games/olympic/tokyo/schedule/>（閲覧日2021年10月1日）
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2021b）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）メダル・入賞者一覧. <https://www.joc.or.jp/games/olympic/tokyo/japan/winnerslist/>（閲覧日2021年9月25日）
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2021c）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）日本代表選手ハンドブック・名簿. 公益財団法人日本オリンピック委員会, 大日本印刷株式会社：東京. P9, 132-135
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2021d）日本の大会参加状況. https://www.joc.or.jp/games/olympic/sanka/olympic_s8.html（閲覧日2021年10月1日）
- 公益財団法人日本オリンピック委員会（2021e）第32回オリンピック競技大会（2020/東京）大会概要. <https://www.joc.or.jp/games/olympic/tokyo/>（閲覧日2021年10月1日）
- オリンピックチャンネル（2021a）【8月8日】東京五輪・閉会式の放送予定 | 「Worlds we share」のコンセプトで大会を締めくくる. <https://olympics.com/ja/featured-news/8%E6%9C%88%E6%97%A5-%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E4%BA%94%E8%BC%AA-%E9%96%89%E4%BC%9A%E5%BC%8F%E3%81%AE%E6%94%BE%E9%80%81%E4%BA%88%E5%AE%9A-worlds-we-share-%E3%81%AE%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%BB%E3%83%95%E3%83%88%E3%81%A6%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%82%92%E7%B7%A0%E3%82%81%E3%81%8F%E3%81%8F%E3%82%8B>（閲覧日2021年9月28日）
- オリンピックチャンネル（2021b）“United by Emotion”：東京2020開会式, いよいよ23日開催！. <https://olympics.com/ja/news/united-by-emotion-everything-you-need-to-know-about-the-opening-ceremony>（閲覧日2021年10月1日）